

職員による自己評価

A環境面

室内が汚れていることがある。活動を行うスタッフの配置数が適切ではないことがある。利用者に応じた設備が不十分なところがある。

B児童への支援内容

利用者の状態を把握し、スタッフの役割を決めた上で活動を決めて楽しんでもらうことを意識している。

C関係機関との連携

他事業所や地域の関係機関とのかかわりが薄く感じられる。

D保護者への説明責任・信頼関係

毎日の連絡帳にてその日の出来事等をお伝えしている。必要な場合に応じて、電話での対応を行っているが、こちらから発信することは少ない。

E非常対応

怪我や災害時の対応方法が十全に周知されていない

保護者による評価

A環境面

設備に関して満足されている方とそうでない方がいる。

B児童への支援内容

概ね満足されている方が多い。  
関係機関や他事業所等との関わりには、少ない印象を感じられている。  
子どもについて共通理解ができていないと感じている方もいる。

C事業所からの情報発信

SNS やホームページからの発信はあるが、会報等の発信は少ない。

D非常対応

概ね説明され理解を得られているが、周知・説明が不十分だと感じられている方もいる。

事業所内での分析

【共通点】

他事業所や地域とのかかわりが薄い。  
非常対応について説明と理解が不十分である。  
保護者に対して発信が少ないのもあり、伝わっていない部分が多くあるという実感。

【相違点】

現状満足いただけている部分も多く感じる。  
事業所内の環境面では床の段差に関してトイレ以外はバリアフリー化し、階段には手すりを設置している。  
保護者様との子どもに関する理解が共有できていない部分がある。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

支援の内容や信頼関係については、良い評価をいただけている。  
子どもが通所することを楽しみにしてくれていることがスタッフの子どもに対する支援の成果の現れになっていると感じる。  
長く通ってくださっている方が多く利用回数の相談もいただくこともある。  
生活の一部や居場所として、感じていただけている。

### 事業所の改善点

日々の活動の情報が保護者に伝わらない部分も多い為、発信・説明する場や機会を SNS やホームページを活用していくことで増やしていく。  
活動の種類や既存の活動を、さらに改善をしていく事も視野にいれていく。  
他事業所や・地域との関わりが出来るような機会を模索する。  
活動で外出する際には事前に連絡を送る。

### 事業所の改善への取り組み

現状の基本活動に改善案や追加される項目の模索。  
基本活動での利用者の状態に応じた内容の設定、スタッフの配置を行う。  
発信の手段や事業所で当たり前になっている事の発信の少なさの改善。  
他事業所や地域との関わりが出来る活動やイベントに参加できないか模索する。  
スタッフ間の非常事態下での適切な行動をとれるように話し合う場を設ける。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日々の支援に満足しているお声もいただく一方で、まだまだ不十分だと感じられる方もいることが分かり、慢心してはいけないと感じる。

日々の活動などで改善点を考えるありがたい機会になっている。  
卒業の児童もいた中で、保護者様からの意見を聞けるのが今後のより良い改善の機会にもなっている。

事業所名 放課後等デイサービス Be-NEXT 岸根

担当者 江寄宗司